

令和3年度

事業計画書

公益財団法人 えどがわ環境財団

目 次

第1 概要

I はじめに	2
II 運営方針と重点項目	2
III 事業体系	5

第2 機構と組織

I 財団の機構	6
II 事務局組織	7
III 職員数	7
IV 施設概要	7

第3 事業計画内容

I 公益目的事業	8
1 水と緑・花の環境創造		
2 動物とのふれあい及び教育普及		
II 収益事業	15
1 サービス事業収益		

第1 概要

I はじめに

当財団は、昭和55年4月1日、江戸川区の施策に基づく「緑の文化都市」を実現するため、江戸川区の外郭団体として「財団法人江戸川区環境促進事業団」が設立されました。

この間、「ゆたかな心地にみどり」を合言葉にした区民との協働による緑化運動、「親水公園」や「大規模公園」の整備、その後の管理業務を担うなど江戸川区の緑化施策の中心的役割を果たしてきた団体です。

その後、公益法人法制定に対応し公益認定を申請、平成23年9月1日「公益財団法人えどがわ環境財団」として認可、住民緑化推進事業、動物園・ポニーランドの運営を担う公益法人として歩んでいます。

そして今、令和の時代を迎え区は「SDGsの推進と共生社会の実現」をあらゆる施策の根幹に据えて歩み始めました。財団が担う事業もこうした視点での見直しや刻々と変わる時代のニーズに対応することが求められています。

しかし、今般の「新型コロナウイルス感染症」は昨年4月の「緊急事態宣言」以降、一年を通じて「コロナ」との闘いが続き、年末からの再度の感染拡大により「緊急事態宣言」再発出に至っています。この事態は半世紀ぶりに開催予定の「東京2020大会」の延期という結果を招き、多くの国民は落胆し、全区を上げた機運醸成の取り組みや大会成功に向けた計画事業もことごとく中止となりました。

こうした状況の下、財団では「ひまわりで元気を出そうプロジェクト」を展開、区民に元気と笑顔を、医療従事者へは感謝と激励を届けようと、医療機関、学校、保育園や幼稚園に「ひまわりの種」を育て方のガイドブックを添えて贈りました。一方、動物園やポニーランドでも度重なる休園の事態にも、癒しと元気を届けようとSNSを活用し発信し続けました。

まだまだ「コロナ禍」からの脱却は不透明ですが、「今できること、今だからこそできること」を探求しつつ、令和3年度も引き続き公益財団法人の名に相応しい公益目的事業を展開していきます。

II 運営方針と重点項目

《運営方針》

公益法人制度改革の主旨に則り、より公益的な自然環境分野の役割を担う団体として、江戸川区みどりの将来像でもある「水・緑、ともに生きる豊かな暮らし」の実現に向け、今後も区民と共に我がまちを誇りに思い愛着が持てる公益的取り組みを進めます。また、区との連携をさらに強め、新たな環境創造の担い手として、真に区民に必要とされる公益法人運営を確立してまいります。

1 公益目的事業の取り組みの発展・充実

(1) 公益目的事業1「水と緑・花の環境創造」

次世代を担う子ども達や地域の人々に水とみどりのまちづくりの歴史や花と緑の環境教育を行い、これからも自然豊かな生活環境に対する意識を高める緑化啓発事業をさらに加速させ、人づくり・まちづくりを推進します。

① 区民との美しい花と緑の環境づくり協働事業

○花とみどりの環境学習

環境教育冊子「花とみどりと私たち」を使った環境学習（出張啓発事業）を学校や地域で展開します。さらに、身近な自然環境（花や緑）を体験しながら環境を学ぶ取り組み等を行います。

○ウェルカムガーデン活動の推進と支援

学校の児童・生徒と地域住民とともに、緑と花の大切さや連帯感を育む花いっぱい運動や園芸福祉活動の推進を展開します。

○緑化推進のPR（地域まつり等）

地域まつり等のイベントに参加し、区が半世紀にわたり積み重ねてきた緑化運動の取り組みや成果を広く、多くの方へ伝えていきます。

○緑の3R（リサイクル・リユース・リデュース）の推進

区民が不要になった植木鉢や園芸土を回収し、再利用する活動を行うとともに、公園等の落ち葉堆肥化づくりの研究に取り組むなど、緑の3R（リサイクル・リユース・リデュース）の啓発と環境保全を図ります。

② 水と緑・花のシティプロモーション事業

○JR東日本主催の「駅からハイキング」事業とタイアップし、魅力ある「花とみどりのまち・えどがわ」を区内外、多くの方へ伝えていきます。また、区内の魅力ある花や緑の名所ポスターを制作して、区内主要駅や施設等で紹介し、併せて区民の「我がまち」に対する愛着や誇りの醸成を図ります。

(2) 公益目的事業2「動物とのふれあい及び教育普及」

動物とのふれあいを通して、児童・青少年の心身の成長の礎となる多様な実体験ができる事業を展開していきます。

① 動物の飼育及びふれあい事業

○自然動物園の展示・ふれあい業務

動物に直接触れることのできるふれあいコーナーを運営し、併せて動物の役割等を学べる機会を提供します。また、各イベント会場等に出向き、小動物を中心とした移動ふれあいコーナーを開設し、動物愛護の心を育てます。

○ポニー乗馬・馬車・ふれあい業務

ポニー乗馬及び馬車を運営し、併せて「命の大切さ」を伝える情操教育を実施します。

○障害者乗馬業務

障害者の体験乗馬を運営し、障害の有無にかかわらず、馬に親しめる環境を推進します。

○ポニーランドの出張乗馬

区内各地域で開催されるイベント会場、保育園及び小学校にてポニー出張乗馬を実施します。併せて動物への愛護心を育てます。

② 教育普及事業

○動物出張授業

学校・保育園等に出向き、動物の生態や飼育の工夫等を交えた楽しく学べる講演を実施します。

○小学校飼育動物の飼育指導

区内小学校へ出張し、児童等に適切な飼育のアドバイスを行うとともに生き物の飼育に関する意識を育てます。

2 財務基盤の確立

○収益事業による公益財源の確保及び効果的な活用

- ・ 現行の物品販売サービスの見直しや財団ホームページへの広告掲載等積極的な協力依頼を行い、収益力の向上に取り組み、公益財源の確保に努めます。

3 組織体制の強化

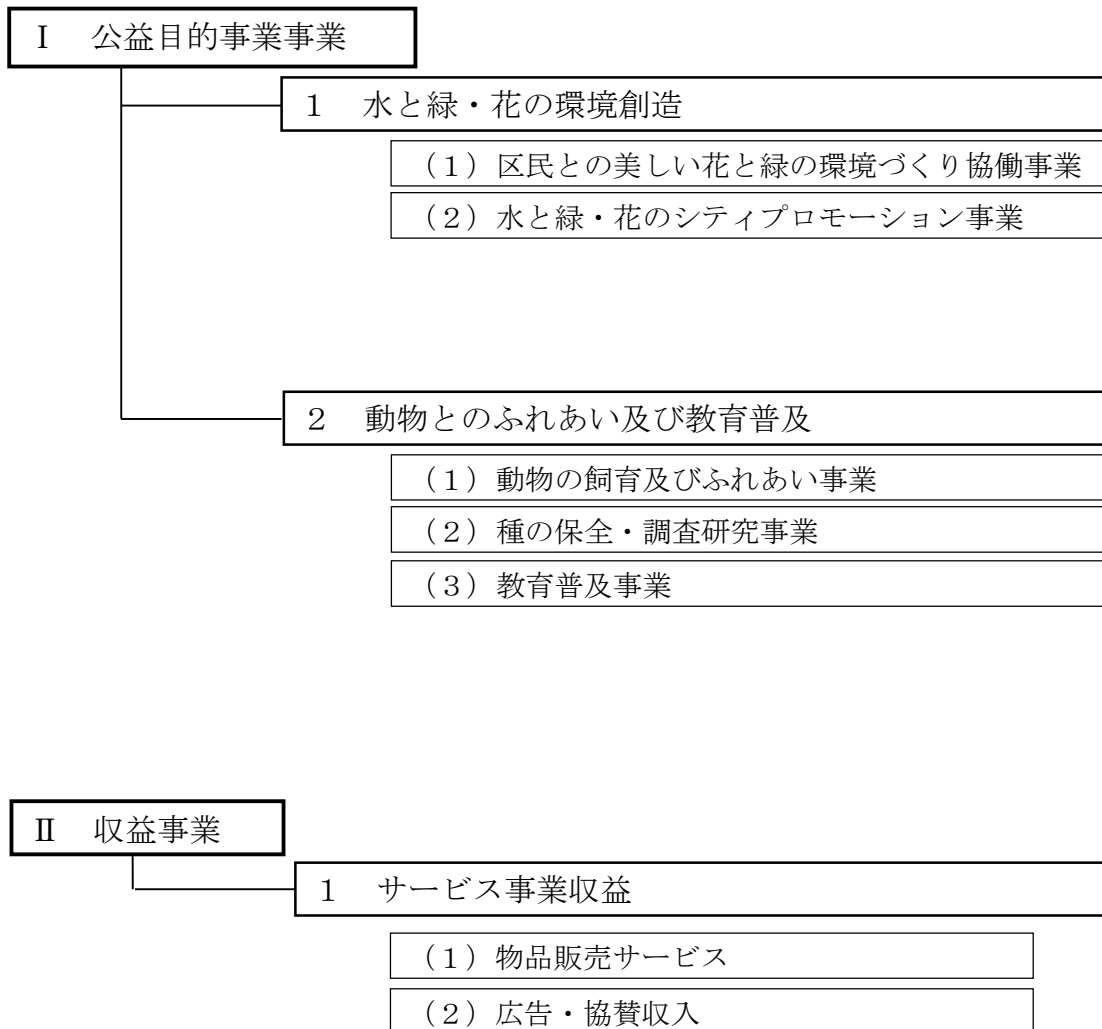
○人材の有効活用

- ・ 「環境創造」団体の職員としての専門性や基本スキルの向上に努めます。
- ・ 公益財団法人としてコンプライアンス（法令遵守）の強化に取り組みます。

Ⅲ 事業体系

当財団は、緑の文化都市といえる明るく豊かな地域社会の構築をより一層推進するために、“水と緑・花の環境創造”を掲げ、今後ますます多様化・複雑化する区民ニーズにきめ細かく対応してまいります。

<令和3年度>



第2 機構と組織

I 財団の機構

財団の機構は、公益財団法人として定款に定められた役員及び評議員を置き、理事会及び評議員会を組織し運営している。

【役員】

理事：4名

理事長は、代表理事としてこの法人を代表し、その業務を執行する。

専務理事及び常務理事は、業務執行理事として理事長を補佐し、この法人の業務を分担執行する。

監事：2名

この法人の業務並びに財産及び会計の状況の監査等定款第33条に規定する職務を行う。

【理事会】

すべての理事をもって構成し、業務執行の決定、規程の制定及び改廃、その他財団の運営に関する事項の決定等法令や定款で定められた職務を行う。

【評議員】

7名

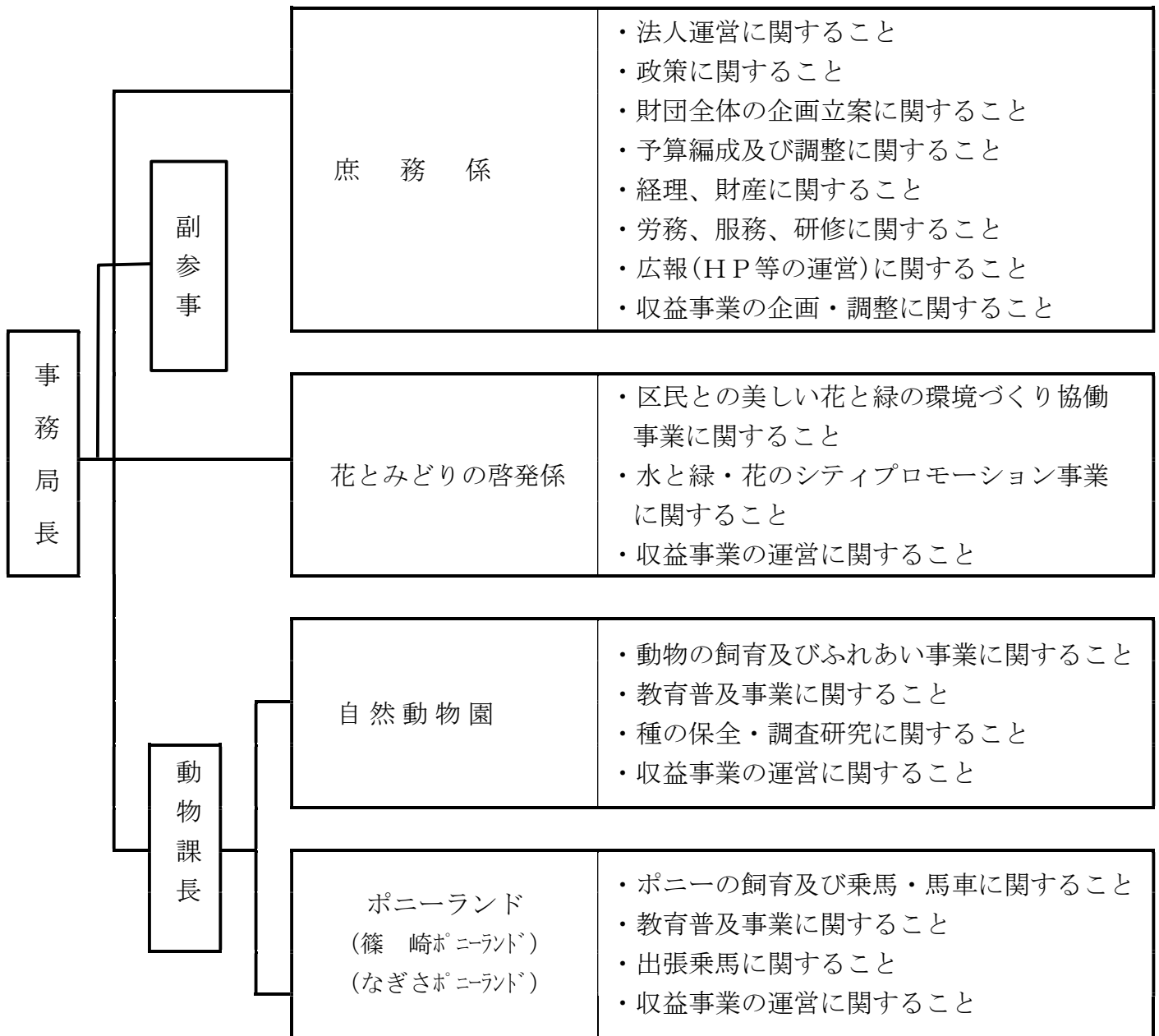
評議員会会長、評議員会副会長を、それぞれ1名置き、評議員会会長は、評議員会の議事を整理する。

評議員会副会長は、評議員会会長を補佐し、評議員会会長に事故があるとき、又は評議員会会長が欠けたとき、評議員会会長の職務を代行する。

【評議員会】

すべての評議員をもって構成し、理事及び監事の選任又は解任、役員に対する報酬等の額、貸借対照表及び損益計算書の承認、定款の変更等法令又はこの定款で定められた事項を決議する。

II 事務局組織



III 職員数 (人)

令和3年4月1日

固有職員			区派遣職員	合計
職員	再任用	計		
46	11	57	4	61

IV 施設概要

名称	所在地	面積 (㎡)	休園日	備考
自然動物園	北葛西 3-2-1	4,900.00	月曜日	動物:60種 680点
篠崎ポニーランド	篠崎町 3-12-17	14,937.26	月曜日	ポニー8頭、馬車馬1頭、ヤギ2頭、ミニブタ2頭
なぎさポニーランド	南葛西 7-3	5,000.00	月曜日	ポニー7頭、ヤギ2頭

第3 事業計画内容

令和3年度は、区が半世紀にわたり築いてきた「水と緑の環境」の価値をさらに高めるとともに、区民の我がまちに対する「誇り・愛着」「ゆたかな心」を育む啓発活動の取り組みを推進し、花やみどりがあふれる共生社会づくりに努めます。

また、動物施設においては、動物とのふれあいをテーマに動物展示や乗馬体験、障がい者乗馬や障がい者乗馬への理解を深めるためのデモンストレーションなどのイベントを開催します。また、出張教室など教育普及活動を推進します。

I 公益目的事業

1 水と緑・花の環境創造

(1) 区民との美しい花と緑の環境づくり協働事業

予算額：【1,465千円】

(自主財源 965千円を充当)

(区補助 500千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

半世紀にわたり積み重ねてきた緑化運動の取り組みや成果を広く伝えていくと共に、次世代に向けた緑化推進と、水と緑の環境に対する愛護心の醸成を図ります。

内 容	
1) ウェルカムガーデンの活動の推進	<p>住民と一体となって、身近なみどりの大切さや育てる楽しみを育む「花いっぱい運動」の支援と普及啓発の拡大を図ります。また、町会・自治会はもとより、医療・福祉施設などとの連携もこれから力強く進め、各家庭での花いっぱい運動の取り組みと連動した「地域見守り活動」の推進や「園芸福祉活動」にも繋げていきます。</p> <p>【場 所】区内小・中学校の花壇、町会・自治会、商店街、福祉・医療施設ほか</p> <p>【対 象】児童・生徒・学校応援団、地域住民</p> <p>【内 容】花壇整備(簡易)・草花の提供・環境学習・緑化相談アドバイス</p>
2) 花とみどりの環境学習	<p>区がこれまで取り組んできた緑化事業の歴史やこれからの未来に向けた取り組みを伝えます。</p> <p>【会 場】区内の小学校ほか</p> <p>【対 象】主に4年生以上の児童・生徒</p> <p>【内 容】みどりのまちづくりの歴史や、花や緑の大切さ、育て方等を財団職員が学校で環境教育冊子「花とみどりと私たち」を活用し、環境学習を行います。</p> <p>【そ の 他】出張啓発講座としても実施(町会・自治会、商店街、福祉施設・図書館、等)花とみどりの大切さや育て方、みどり豊かな江戸川区の歴史を学べる機会を提供します。</p>
3) 緑化推進PR	<p>地域まつり等のイベントに参加し、半世紀にわたり積み重ねてきた緑化運動の取り組みや成果を広く伝えていきます。</p>

【主な内容】

- ① 花とみどりの名所紹介や緑化相談による緑化推進活動
- ② 草花・苗木等の配布及び花鉢寄せ植えサービス（ハンギングバスケット、等）
- ③ 家庭で不要になった植木鉢や園芸土の受け入れと緑の3R事業で再生した植木鉢の配布、等

4) えどがわ“花いっぱい運動”のつどい（第4回）の開催

区民一人ひとりが参加できる取り組みを紹介し、実践するきっかけづくりとして“花いっぱい運動”のつどいを開催します。

【開催日】12月12日（日）

【会 場】タワーホール船堀 展示室1・2

【内 容】ボランティア団体による体験教室やPR展示、ウェルカムガーデン事例紹介、等

5) 花と緑の写真・短歌・俳句コンクール

区内の「四季の花と緑、人」をテーマにコンクール作品を募集・展示し、花と緑の普及啓発を行います。

6) 平井わかばと花工房を利活用

平井第二小学校校庭跡地の一部を苗圃として、緑化啓発用の草花・苗木を区民と協働で育成し、住民緑化の推進を図ります。

【概 要】

- ① 所 在 地：平井6-1-17（面積：743.28㎡）
- ② 規 模：ビニールハウス1棟(5.4m×8.0m)、既設花壇9基、作業ヤード
- ③ 栽培植物等：多肉植物、花菖蒲、菊、紫陽花、ハーブなど、約7,000株を生産

【主な内容】

- ① 草花・苗木の栽培（イベント等で無料配付・展示即売(収益)）
- ② 苗木・腐葉土づくり体験（菊や紫陽花等の挿し芽・鉢上げ講座及び、落ち葉の堆肥化）
- ③ リサイクルヤードとして、植木鉢や園芸土を再生します。

7) 緑の3R（リサイクル・リユース・リデュース）の推進

区民が不要になった植木鉢や園芸土を回収し、再利用する活動をはじめ、落ち葉の堆肥づくりの研究に取り組み、緑のもったいない運動の啓発と環境保全を図ります。

(2) 水と緑・花のシティプロモーション事業

予算額：【1,493千円】

（自主財源295千円を充当）

（区補助1,198千円を充当）

※事業経費を記載（人件費除く）

花や緑、水辺環境の愛護心の啓発に努めるとともに、魅力あるコンテンツ等を作成し「水と緑・花のまち えどがわ」を区内外へ配信します。

内 容

1) 「水と緑・花のまち えどがわ」PR

江戸川区で半世紀にわたり展開された緑化運動の成果「水と緑・花のまち えどがわ」を区内外へ配信します。

- ① 「花の名所」ポスターによる主要駅や施設等での紹介（「桜」「ツツジ」「花菖蒲」）
※デザインは区内専門学校との「コラボレーション」制作
※各ポスターは花の見ごろ時期に合わせ主要駅に掲示
- ② 区民投稿「みんなの花とみどりのアルバム」や水と緑、花の「えどがわツーリズムチラシ」web版の配信

2) 「駅からハイキング」の実施

JR東日本主催の「駅からハイキング」とタイアップし、葛西臨海公園駅を起点に「花と緑のまち えどがわ」の魅力が満喫できる春のウォーキングを開催し、都会の自然を区内外の多くの方へPRします。

開催日：令和4年3月21日（月・祝）～27日（日）

コース：葛西臨海公園駅を起点とした葛西エリアの桜満喫ウォーキング

2 動物とのふれあい及び教育普及

(1) 動物の飼育及びふれあい事業

予算額：【107,890 千円】

(区委託料 107,890 千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

動物とのふれあいを中心に魅力的な展示を行うための展示計画を策定し、国内の関係機関等と連携して動物の交換・貸借の調整や動物収集等を行うなど、種の保全に努めます。

内 容	
1) 自然動物園の展示・ふれあい業務	「動物福祉」を責務とし「動物にも優しい動物園」を目指し日々、展示改善を行いふれあいコーナーではウサギやモルモット等に直接触れたり、抱いたりすることで、「命」を感じる場を提供します。また、ヤギ・ヒツジ・ニワトリ類の家畜としての歴史や役割を大人と一緒に学べる機会を設けます。
2) 自然動物園の出張動物	区内各地域で開催される区民まつりや地域のイベント等に小動物を中心とした移動ふれあいコーナーを開設します。動物とのふれあいの機会を提供することにより、動物への愛護心を育てます。 地域イベントへの出張 (4回)
3) ポニー乗馬・馬車体験	両ポニーランドでは小学生までのお子さんを対象にポニー乗馬を、篠崎ポニーランドではご家族で楽しめる馬車を運行します。その際、馬の生態等をお話しし、「命の大切さ」を伝える情操教育をあわせて実施します。 ① ポニー乗馬 <<篠崎ポニーランド・なぎさポニーランド>> 【開催日】 随時 【対 象】 小学生以下 ② 馬 車 <<篠崎ポニーランドのみ>> 【開催日】 随時
4) ふれあいコーナーの運営 <<篠崎ポニーランド・なぎさポニーランド>>	ヤギ・ミニブタにふれあい、家畜としての役割、命の大切さ等を学べる機会を提供します。 【開催日】 随時
5) ポニーランドの出張乗馬	区内各地域で開催される区民まつりや地域のイベント、保育園・小学校等にポニーコーナーを開設して出張乗馬を行うとともに、区内各地域において移動ポニーランドを開設して出張乗馬を行い、動物とのふれあいの機会を提供することにより、動物への愛護心を育てます。 ① 地域イベントへの出張 (3回) ② 保育園・小学校への出張 (25回) ③ 地域への出張(移動ポニーランド)(20回)

(2) 種の保全・調査研究事業

予算額：【193 千円】

(区委託料 193 千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

地球環境保全の見地から、動物の生態系保全に貢献することを目的として、園で保有する動物の生態等の調査研究や絶滅危惧種や希少種等の保全のための取組みを、関係機関や大学等と連携し行います。また、その成果を広く来園者等に周知します。

内	容
1) 種の保全業務	
① 種の累代飼育	シロビタイムジオウム・レッサーパンダ・フンボルトペンギン・ワタボウシタマリン・ホウシャガメ (CITES I 類) ・オタリア・オオアリクイ (国内血統登録種) など ※CITES：ワシントン条約
② 日本産希少生物の保全	ニホンコウノトリなど
2) 調査研究業務	
① マダガスカル産カメ類の繁殖システムの解明	爬虫類専門動物病院と共同研究

(3) 教育普及事業

予算額：【844 千円】

(自主財源 19 千円を充当)

(区委託料 825 千円を充当)

※事業経費を記載(人件費除く)

生活環境の変化による直接体験の減少により、児童・青少年の心身の健やかな成長に対する悪影響が懸念される中、児童・青少年に対して、心身の成長の基礎となる多様な実体験ができるプログラムを提供します。

内	容
1) ふれあい体験教室・講座講習会の開催	
《自然動物園》	
① ヒツジの毛刈りショー	羊の毛刈り・子どもたちの毛刈り体験・クイズ・パネル展示・フェルトボールづくり等を行います。 【開催日】 5月 (1回)
② サマースクール	子どもたちに動物舎の清掃や給餌等、飼育係の仕事の一部を体験してもらうとともに、飼育係と獣医師が動物の生態・健康診断・治療についてのお話を行います。 【開催日】 7月 (4回) 【対象】 区内小学3年～6年生
③ 親子一日飼育体験教室	親子の絆を深められるようなプログラムに設定し、親子共同での飼育作業等を行います。また、動物のエサやり体験や動物の健康診断・爬虫類に関する講義等を行い、親子で動物についての知識を得られる内容とします。 【開催日】 9月 (4回) 【対象】 区内小学1、2年生とその保護者

④ 動物園のうらがわ探検

普段は見るできない動物舎や診療室、調理室、飼料庫等のバックヤード見学(裏側見学)を行い、動物園というものを理解しやすいように解説します。

【開催日】 5月・9月(全2回) 【対象】 小学生以上

⑤ 動物写真講座

プロカメラマンによる写真技術の講義の後、動物園内で実技実習を行い、動物を観察し撮影する楽しさを学んでいただきます。

【開催日】 5月(1回) 【会場】 自然動物園及び北・西コミュニティ会館

⑥ 飼育係、獣医師のおはなし

野生での状況や図鑑等では学べないこと等を、飼育係や獣医師が展示場の前で解説を行います。また、自然動物園では、おはなしスタンプラリーを開催し、楽しみながら学べるプログラムとします。

【開催日】 毎週土・日、祝休日

⑦ わくわくタイム

飼育係が動物を展示場から出し、間近で見たり、ふれたりしてもらいながら、生態等の解説を行ないます。また、飼育係が展示場で動物にエサを与え、食べる姿を見ながら解説します。

【開催日】 不定期

⑧ 動物出張授業

<出張授業>

図書館等の施設に出向き、動物の生態や動物園での飼育の工夫、エピソード等を交えた楽しく学べる講演を行います。また、ウサギ・モルモット・チャボとのふれあいも行います。

【開催日】 不定期 【会場】 図書館・子ども未来館等区内施設

<小学校飼育動物の飼育指導>

区内小学校へ出張し、ウサギ等の飼育動物に関して飼育委員会の生徒等に適正な飼育管理のアドバイスを行うとともに、責任を持って生き物を飼うという意識を育てます。

【開催日】 不定期 【会場】 区内小学校

《ポニーランド》

① サマースクール

ポニーのお世話や乗馬体験を通して生態や飼育法を学び、動物への愛着を高め情操教育の機会を作ります。

<子供コース>

【開催日】 7月～8月(6回) 【対象】 小学4年～6年生

<親子コース>

【開催日】 7月～8月(8回) 【対象】 小学1年～3年生とその保護者

② 障害者乗馬

障害をお持ちの方に乗馬体験を通じて、動物とふれあう機会を創出し、動物への愛着を高める機会を作ります。

【開催日】 通年(20回) 【対象】 小学生以下の障害をお持ちの方

③ 障害者乗馬デモンストレーション

障害者乗馬を始めるにあたり、PRを行うとともに障害者乗馬への理解を深めるため、デモンストレーションなどのイベントを開催します。

【開催日】 障害者乗馬実施初年度 【会場】 篠崎ポニーランド

④ 馬に関するイベントの誘致

障害者乗馬・馬術等、馬に関する認識を広め、ポニーランドの認知を高め利用促進を図るため、区内はもとより国内に発信できるイベントを誘致し開催します。

【開催日】 年1回 【会場】 篠崎ポニーランド

⑤ 装蹄師のおはなし

普段見ることのできない装蹄・削蹄の現場を見学し、装蹄師による馬の解説を行います。

【開催日】 年2回 【会場】 篠崎ポニーランド・なぎさポニーランド

《自然動物園》

① フンコロジー “フンで花を咲かせよう”

草食獣の反芻(はんすう)の仕組み、自然界での栄養循環をわかりやすく解説します。また、動物達の糞で花を種から育ててもらい、糞の役割を実感してもらいます。

【開催日】 4月(1回)

② 愛鳥週間イベント

飼育係・獣医師により、身近な野鳥に関するパネル展示や鳴き声クイズなどを行ない、自然環境についても考えていただけるような企画を実施します。

【開催日】 5月(1回)

③ 動物フォトコンテスト

一般公募による動物写真コンテスト。入選者の表彰と作品展示を行います。

【募集期間】 9月～10月

④ 動物愛護週間イベント

動物愛護に関する標語コンクールの募集を行うとともに、動物愛護に関するパネル展示を行います。併せて飼育係・獣医師によるお話しをすることにより、動物との共存の大切さ等の理解を深めていただく内容とします。

【募集期間】 7月 【開催日】 9月

《ポニーランド》

① フンコロジー “ペーパークラフト”

草食獣の消化の仕組み、自然界での栄養循環をわかりやすく解説します。また、馬糞を使った紙漉きをして作品を作ります。

【開催日】 7～8月(2回)

② 蹄鉄クラフト教室

不用になった蹄鉄等を利用し、写真立てやクリスマス飾りなど作成する教室を実施します。楽しみながら、リサイクルの一環として物を大切に子ども達の心を育みます。

【開催日】 7～8月、12月(4回)

2) 利用促進・PR業務

動物たちの飼育情報やイベント情報をホームページや区広報を活用し広くお知らせします。また、ウェブサイトを充実し、各施設の魅力をタイムリーに発信していきます。

3) 研修支援・人材育成（飼育実習生等の受け入れ）

飼育係を目指す学生たちに自然動物園やポニーランドでの実習を通して、知識や技術だけでなく、組織人・企業人としてのマナーや考え方、コミュニケーションスキル等ができる人材育成を目指して実施します。

《自然動物園、ポニーランド》

① 飼育実習受け入れ

学校の勉強では学びきれないことを、実際の現場で学んでいただくプログラムを実施します。

【開催日】 随時 【対 象】 高校生・専門学校生・大学生

② 職場体験・チャレンジ・ザ・ドリームの受け入れ

江戸川区内外の職場体験事業に協力し、動物飼育業務の実体験プログラムを実施します。

【開催日】 随時 【対 象】 小学生・中学生

③ 職場訪問の受け入れ

社会科学習の一環として、職員による施設の説明や飼育の仕方などのお話を、学年に合わせた内容で実施します。

【開催日】 随時 【対 象】 小学生・中学生・高校生

II 収益事業

1 サービス事業収益 【収益 8,192 千円 費用 5,073 千円】（利益見込額 3,119 千円）

事業運営によって得られた収益は、公益目的事業会計に繰り入れ、事業等を通じて区民に還元します。

（1）物品販売サービス

えどがわ百景カレンダー1部 500円、動物カレンダー1部（壁掛け）300円・（卓上）500円、草花・苗木等の販売を実施します。

（2）広告・協賛収入

ホームページバナー広告料月 3,000円等の広告協賛収入事業を実施します。